



子どもの森づくり通信

(発行:NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2013年7月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



7月中旬を過ぎて発芽した、ルーキーどんぐり君たちです。

全国各地でゲリラ的な集中豪雨による災害が続いています。
被害に合われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。
子森通信7月号をお送りします。

(目次)

1. 「JP子どもの森づくり運動」地域の活動レポート
 2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
 3. 事務局からのお知らせ
- どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編⑦～

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟

(順不同) (社)国土緑化推進機構

全国森林インストラクター会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(社)大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(社)日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. 「JP子どもの森づくり運動」地域の活動レポート

フラグシップ園の植樹活動をご紹介します。活動の詳細はホームページをご覧ください。

■福井県「大野幼稚園」植樹会 ■日時:2013年5月22日(火) ■植樹場所:九頭竜湖

当日の天候は曇り、気温もそれほど高く無く作業も約1時間程度でスムーズに終わりました。参加者は在園児30名、その兄弟姉妹、保護者、園職員合わせて40名全体で70名でした。簡単な説明と挨拶の後作業に取り掛かり11時半には昼食をとって午後1時半には帰路につきました。心配された雨にも遭わず無事終了することができました。植樹された苗は、クヌギ30本・コナラ25本に加え、私が個人的に実生から生苗したケヤキ10本・ナラ柏5本の計70本です。雪対策として今回は、木グイを打ち雑草除けと保水対策として苗の周りに段ボールを敷く試みを致しました。昨年浄心保育園さんとの合同植樹会で植えたモノは、多数が消えていましたが、20本程度はかろうじて生き残っている状態でした。帰りに下半原にあるコナラの実生を採取し試みとして園で育ててみたいと思います。*7月に入り、地元サポーターによる下草刈りも行われました。(大野幼稚園 藤園長先生)



植樹活動



下草刈り

■岐阜県「浄心保育園」植樹祭 ■日時:2013年6月2日(日) ■会場:油坂さくらパーク

2013年6月2日(日)に、岐阜県のフラグシップ園「浄心保育園」の二回目の植樹会が「植樹祭」として開催されました。植樹会場の「油坂さくらパーク」は、元スキー場という素晴らしい環境のフィールドです。保護者のご紹介で、今後継続的に活用可能な植樹フィールドとしてご提供いただきました。当日は天候にも恵まれ、約50名の園児と保護者が参加するにぎやかな植樹会となりました。今回植樹された苗木は、園で育てている苗木の発育が十分でないということで、森林インストラクターの村上さんが育てた苗木をみんなで植えました。今回は、苗木の1本1本に、どんぐりの樹種と植えた子どもの名前が表記されたアルミ製の標柱が建てられました。今後、夏草対策、冬の積雪対策など、保護者を中心とした定期的な苗木の見守り活動も実施されますので事務局としてもサポートしていきたいと思います。(子森ネット中村)



苗木1本ごとに標柱を立てました。



「油坂さくらパーク」全景

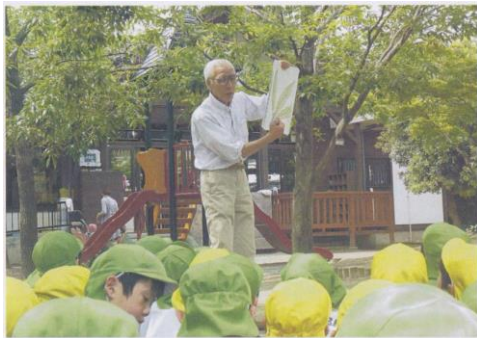
*「油坂さくらパーク」に関する情報は、ホームページをご覧ください。⇒<http://www.aburasaka.com/>

2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」(「東北復興GW」)活動レポート

「東北復興GW」苗木のお披露目会の実施レポートです。詳細はホームページをご覧ください。

■埼玉県「児玉保育園」・日時:2013年5月21日(火) ・会場:園庭、ふるさとの森公園

今年の苗木お披露目会では、東北復興グリーンウェイブ支援で預かったどんぐりがようやく芽をだし、今回、地元の苗木と一緒に披露目することができ、地震や津波のことについて合わせて学ぶことができました。「お披露目会」終了後、卒園したお友達が植樹した苗木がどのくらい成長したかを確かめに保育園のバスに乗り、「ふるさとの森公園」まで行きました。秋には自分も植えつける事もあり、どんなどころに苗木が植樹されているのかワクワクしながら移動しました。公園に着き、苗木を見るとたくさんの木々に囲まれて頑張っていたので「大きくなってね！」や「いつになったら他の木みたいになるの？」など、いろいろな話がでて、さらに興味が湧いたようでした。(児玉保育園 清水先生)



神座インストラクターによるどんぐり講座



「ふるさとの森公園」にて

■沖縄県「花園幼稚園」苗木のお披露目会

・日時:2013年6月29日(火) ・会場:宮古島市中央公民館 ・応援メッセージ:上野郵便局 局長 古謝進氏

花園幼稚園で無事に芽を出した岩手県のどんぐりの苗木のお披露目会は、花園幼稚園の毎年恒例の「花園つ子まつり」にまぜてもらって行われました。園長先生からは、「芽が出て葉っぱを広げたときの喜びを、もう一度みんなで分かち合いたい」との呼びかけがありました。活動をご支援いただいている日本郵政グループ様からは、地元「上野郵便局」の古謝局長様から応援のメッセージをいただきました。お祭りのフィナーレでは、みんなで「クイチャー」を踊りました。(子森ネット 河内)



園長先生と、どんぐり博士による苗木のお披露目



上野郵便局 古謝局長さんの応援メッセージ



年長さんによる踊りのお披露目



みんなで「クイチャー(注)」を踊りました。

*注:クイチャー
沖縄県宮古島に
伝わる民謡およ
び踊り。

3. 事務局からのお知らせ

1)「苗木のお披露目会」開催のご提案

地元で子どもたちが拾ったどんぐりや、東北から届けられたどんぐりが芽生えてくれました。そんな季節ならではの活動として、「苗木のお披露目会」の実施をお奨めます。活動を通じて、子どもたちと共に生命の芽生えを祝い、あらためてみんなで苗木を大切に育てていこうという気持ちを共有してくれます。できれば、保護者の方たちにも参加してもらい、そんな子どもたちの活動風景をご覧いただけると良いですね。是非、事務局宛に活動レポートをお送り下さい。



2) 苗木を見守る活動「夏草刈り」のご提案

夏本番を迎え、苗木たちも子どもたちと一緒に元気に育つ季節です。同時に、苗木が植えられたフィールドの夏草も大きく育ち、まだ幼い苗木たちを覆い隠してしまいます。苗木を見守る活動として、有志を募り、夏草刈りを実施しましょう。その際、せっかく育った苗木と一緒に刈らないよう、十分に注意して下さい。



3) ホームページまで活動情報やレポートをお送り下さい。

事務局ではホームページを通じて皆様の活動を積極的に発信させていただきたいと思っております。活動情報やレポート、写真をお送り下さい。森づくり活動に限らず、恒例の行事など、園としての活動風景であればなんでも結構です。*送信先:info@kodomonomori.net

*郵送先:〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4-3F「子森ネット」



4)「ロハデザイン大賞」大賞受賞掲載誌のご案内

「東北復興GW」の活動が、コト部門で大賞を受賞した「ロハデザイン大賞2013」の受賞の様子が掲載されている「月刊ソトコト」8月号が全国書店等で発売中です。

●どんぐり博士の育苗講座 2013～基本編⑦～

7月24日に岩手県山田町を訪ねて、どんぐりを拾ってくれた三つの保育園を訪問し、子どもたちと苗に会ってきました。まず、山田町の苗の写真をみてください。

*どんぐり博士:河内和男(森林インストラクター)



山田町織笠保育園の苗です。今年の東北は春が遅く芽が出るのが大変遅かったため心配したのですが、同園では11本の苗が元気に育っています。さて本題です。今年の東北での苗の成長の仕方は、葉の上に新たに葉を出し、背を高く伸ばす特長が見られます。ここに写っている苗のほとんどはコナラです。手前の一番右端の、葉が1段しか無い苗はミズナラかも知れません。(確認を怠りました)

条件によってはほとんどの苗で、1段だけの葉が大きくなるだけで、苗の背丈はあまり伸びずに1年を終えてしまうこともあるのですが、今年の東北は違います。いつまでも梅雨明けせず水分が充分有るせいなのか？ 気温20度前後の涼しさが葉を出す条件にあっているのか？ 原因ははっきり分かりませんが、毎年変わる生育条件に適応して生き残る可能性を高くする仕組みが備わっているのだと感心します。さて、皆さんの園では、苗の状況は如何でしょうか。良かったら写真を添えて教えて頂けると嬉しいです。